

森美術館

「STARS展:現代美術のスターたち — 日本から世界へ」同時開催プログラムのご案内

会期: 2020年4月23日(木) - 9月6日(日) 会場: 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)



MAMコレクションは、森美術館の収蔵品を、
多様なテーマに沿って順次紹介する展覧会シリーズです。

MAMコレクション012: サムソン・ヤン(楊嘉輝)

企画: 近藤健一(森美術館キュレーター)

サムソン・ヤン(楊嘉輝、1979年香港生まれ)の映像と音を使ったインスタレーションを紹介し、オーケストラが交響曲を演奏する様子が映し出されるも、楽器が奏でる音は消音されています。かわりに、いつもは聞こえていない、身体的な動作によって生み出されるガサガサというノイズのみが響く別世界が広がります。



サムソン・ヤン(楊嘉輝)
《音を消した状態#22:音を消したチャイコフスキー交響曲第5番》2018年
ビデオ、12チャンネル・サウンド・インスタレーション 45分



MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから
選りすぐりのシングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

MAMスクリーン013: ムニーラ・アル・ソルフ

企画: 近藤健一(森美術館キュレーター)

ムニーラ・アル・ソルフ(1978年ベイルート[レバノン]生まれ)は、社会の中の小さな出来事や他愛ない物語、女性ならではのエピソードを、ユーモアを込めて描きます。ときにフィクションやファンタジーが織り交ぜられるドキュメンタリー風の映像作品は、登場人物の「語り」が鍵となります。



ムニーラ・アル・ソルフ 《ラフーンの歌》2006年
ビデオ 7分



MAMプロジェクトは森美術館が世界各地のアーティストと
実験的なプロジェクトを行うシリーズです。

MAMプロジェクト028: シオン

企画: 徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

シオン*(1979年唐津[韓国]生まれ)は、ポップカルチャーと韓国の伝統的なシャーマニズムの対比を手掛かりに、ジェンダー問題、経済格差や大量消費といった現代社会の諸問題を主題とする、多様なメディアの作品を制作してきました。本展では、現在拠点を置くポーランドで取り組んでいる立体作品を中心としたインスタレーションを発表します。

*ヒョンギョンからシオンに改名



シオン 《誰もあなたの不幸に興味なんてないよ》2018年
木製彫刻、ミクストメディア 196×180 cm
撮影:コンラッド・ザレンプスキ

主催: 森美術館

開館時間: 10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 *いずれも入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休 *ただし、5/5(火)は22:00まで

入館料: 「STARS展:現代美術のスターたち — 日本から世界へ」チケットで鑑賞可 一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、
子供(4歳—中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 *表示料金に消費税込 *本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可
(スカイデッキを除く) *スカイデッキへは別途料金がかかります

一般のお問い合わせ: Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

プレスリリース

取材・広報画像に関するお問い合わせ

森美術館 広報事務局(共同ピーアール内) 担当: 津原、藤本、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp